

I 研究の概要

1 学校課題

- (1) 社会への適応と自立に向け、個のニーズに応じた能力の伸長
- (2) 教職員の専門性向上と視覚障害教育及び病弱教育のセンター校としての役割の推進

2 研究主題

「将来の社会自立に向けて、自ら学ぼうとする力を育むための教育活動について」
～ 視覚障害教育及び病弱教育の専門性の維持・向上の取組 ～

3 研究主題設定の理由

本校の教育目標は、「一人一人の個性や能力の伸長及び病状の改善を図り、社会に適応し自立できる豊かで健全な心身を養う」である。年々、幼児児童生徒の在籍数が減少し、障害の重度・重複化や多様化に応じた指導・支援、学校生活以外の場面での系統的、教科横断的な指導などが課題となっている。

本校の幼児児童生徒においては、在籍者数が少ないことから同年齢の友達との関わりが少なかったり、周りに自分のモデルとなる存在を見い出すことが難しかったり、情報が少なかったりするため、自ら課題に気づき、考え行動することや、自分で自分の将来像や目標を描くことが難しい様子が多くみられる。そのため、卒業を迎えるとき、進路先がなかなか決まらなかったり、社会生活への適応に不安を抱えたままだったりすることがあり、卒業後や将来を見据えた教育活動の充実が求められている。

そこで、研究主題を「将来の社会自立に向けて、自ら学ぼうとする力を育むための教育活動について」と設定し、幼児児童生徒が日頃から課題意識をもって、多様な方法で主体的に課題を解決し、自らの可能性を広げていくことができるように、キャリア発達の視点に注目し、個に応じた指導の一層の充実を図り、指導や支援の在り方について追究することにした。

1年次の令和5年度は、5つの研究グループに分かれ、各グループでテーマを設定し、平成26、27年度の校内研究で作成された「キャリア発達段階表」を参考に、各学部卒業後に目指す姿を思い描きながら、一人一実践に取り組んだ。事例検討を通して、一人一人の将来の姿を見据えて指導・支援を行うことの重要性を改めて実感し、学部を超えて意見交換することで、キャリア発達の視点から、現段階で必要な力を考えることができた。一方で、各グループのテーマに対する課題と、私たち教職員に求められる視覚障害教育や病弱教育の専門性に対する課題も見えてきた。

2年次の今年度は、1年次のグループの課題と研究主題の解明に向けて、文献や書籍、他県の先行研究を参考にし、一人一実践に取り組むことで、指導する上での実践力を高める研究となるように取り組みたい。

学習指導要領の改訂では、「自立と社会参加に向けた教育の充実」について、幼稚部、小学部段階からキャリア教育の充実を図ること、生涯を通じて主体的に学んだり、スポーツに親しんだりして、自らの人生をよりよくしていく態度を育成すること等が示されている。学校全体でのキャリア教育の推進を目指して、5つのグループの連携を取りながら、研究を進めていきたい。

本校は、視覚障害と病弱の二つの障害を教育の対象としている。そのため教職員には、視覚障害教育と病弱教育の専門性の維持・向上が求められている。

教職員一人一人が、視覚障害教育及び病弱教育のセンター的役割を担う一員としての自覚を

もち、グループ研修において、視覚障害教育及び病弱教育の専門性を学び、一人一実践の取組を通して教科指導の専門性や、自分自身の実践を振り返り、必要な専門性を学び直すことで実践力を身に付け、即戦力として指導や支援を行うことができるよう、研修に臨みたいと考える。

4 研究計画

(1) 研究内容と目的

① 授業研究・事例研究

- ・グループに分かれてテーマを設定し、幼児児童生徒の実態に応じた指導や支援の在り方及び指導内容・方法の改善等について研究する。

② 教職員の専門性維持・向上

- ・幼児児童生徒の障害特性に応じた指導や支援に活かすために、視覚障害教育及び病弱教育を中心に、教職員の専門性を高め合う。

(2) 全体計画

- ・5グループでの授業等の実践、支援方法の検討（学校課題研修会）
- ・障害種別研修会の実施と研修
- ・全体研修会の実施
- ・専門性セルフチェックシートの活用の検討
- ・2年間の実践の成果と課題の報告
- ・「研究集録」としてまとめる。

(3) 研究方法

- ・学校課題のもと各研究グループで研究主題を設定し、研究を進める。
- ・研究期間は2年間とする。
- ・研究推進委員会で検討された研究の方針を受け、各研究グループで研究を進める。
- ・授業研究及び事例検討を中心として研究を進める。
- ・授業研究及び事例検討を通して得られた成果と課題をまとめ、2年次に総括をする。

(4) 研究組織

校長－教頭－研究推進委員会－全体研修会－

学校課題研修会	
盲グループ	幼稚部・小学部 中学部・高等部普通科
弱視グループ	
病弱グループ	
理療科グループ	理療科
寄宿舍グループ	寄宿舍

5 校内研修

(1) 全体研修会

(2) 校内専門性向上研修会（校内講師による研修会）

(3) 障害種別研修会（外部講師による研修会）